

日南病院の建設『延期』を表明

令和6年3月12日に答申された「日南病院新病院基本構想」に基づき、町は新病院建設をはじめとする地域医療のあり方について、これまで検討を進めてきました。

多くの町民の皆様との対話や、西部圏域の医療関係者の皆様などとの意見交換を重ねる中で、このたび、新病院建設を「延期」することを決定しました。この決定内容を9月定例議会にてご報告しましたので、ここにお知らせします。



「最後の砦」、日南病院を守るために

町民の皆様にとって、日南病院は命を守る「最後の砦」です。この大切な場所を守り抜くことは、私たちにとっての使命です。

しかし、町の将来を考えたとき、今、このまま突き進むのではなく、一度立ち止まることが重要だと判断しました。

このたびの決断は、決して後ろ向きなものではありません。町の財政、国の医療政策の変化、そして将来的な人材確保の課題など、様々な状況を総合的に見極めた結果です。

この「待つ時間」を、未来に向けた「調整」と「準備」の期間と捉えています。町民の皆様の暮らしと医療、その両方を守るための最も現実的な選択です。



町民の生命を守る「最後の砦」 日南病院

「延期」の背景と理由



どうして立ち止まるのか。それには、3つの大きな懸念があるからです。

1) 人口減少を前提とした広域医療体制の再検討・再整理

今後20年で日野郡全体の人口が半減することが予測されています。日南町単独ではなく、周辺の町と協力し、医療人材の確保や広域での医療体制をどう築いていくか、今こそ抜本的に議論すべき時期に来ていると強く感じています。そしてこのことについては、日野郡の医療機関院長及び3町の首長も強い危機意識を共有しています。

また、将来的に医療スタッフの確保が難しくなることも予想される中、2029年に再整備を行う予定の鳥取大学医学部附属病院の動向を踏まえた検討と調整が重要であると考えています。

